

刊夕 磐城時報

日五 印刷所 磐城時報社 印刷部 人岡田弘成

平商生夏休みの 勤勞作業終る 市の慰勞金百圓で 周圍に樹木を植ゆる

平商業學校では去月二十九日最終日である四日午後七時 日から三日間は三年以下、から同校職員、市學務係員

四倉町區長會で 生活改善申合

即日實行に入る

四倉町區長會は三日午後一時開き時局の重大性に鑑み 精神の緊張を計るため左の 件を申合せ即時實行をなす こととなつた

贈答を見合わせる 歳暮、中元、年始の贈 答は近視間に止むること

三、冠婚葬祭 結婚式の仕度調度の節 約を自發的勵行せしめ其

二、生活改善 新盆に際し提灯の贈答 を廢止、新盆祭りの遊藝

一、其の他の件 各區内戸數人口調査を 勵行すること

炭車が逆行し 肋骨五本を折る 小田炭礦椿事

磐崎村下湯長屋小田炭礦椿事區で業務上過失傷害罪で 夫大西金藏(五八)は四日午 略式罰金三十圓に處された

神社詣り 鎌田部落で

神谷村大字鎌田部落民は支 那事變勃發以來毎月舊一、 五、十、十五、二十、二十

鹽田君戦死 大町出身

平市大町出身兩角部隊特務 兵鹽田清君は〇山附近で戦 病死した旨三日夕刻原隊か

親父に 親を揮つて 尊族殺し未遂

錦村大字大倉御寶殿兒玉所及び第一第二倉庫は工費 豊(五〇)と長男武(二七)は八千圓で築港岩壁に建設中

磐城丸 海洋調査

小名濱町水産試験場磐城丸 は海洋横断観測のため四日 朝小名濱港を出帆した、今

第二校同窓會

平第二校同窓會は六日午後 二時から開くが本年は時局 は危く避け左に三週

衛生課長挨拶

新任衛生課長大須賀武氏は 五日石城郡關係方面に就任

四倉海岸から 第一校臨海學校通信

甲種臨海學校便り(第五報) (一)昨日一日たつぷりと 海で遊んで午後の四時

日歸り臨海學校(第一信) 小學校

樂しみに待つてゐた臨海 學校の第一日目が遂に來 た。朝早く起きて一番先

あいに雨が降つた。朝の 自習の其の後で 明るくなつた空模様

赤ふん隊の退却だ チリム、蜘蛛の子の様に ぼんやり半日過ぎたが

夕方暮れ間入浴に 行つて風呂の浴衣がけ 涼しい風に氣も癒れて

夏の御飲料として最も滋養豊富な
そして衛生に適した

力電
高 アイスクリーム
用級 あづきあけいす
フルーツケーキ
風味衛生満点
多少拘らず
御用命御待ちして居ります

◎配達迅速に
御進物：御土産に好適品

町倉四
舗子菓堂好三
番一四一話電

元東京市教育局学校衛生技師
醫學博士 岡田道一先生著

育兒法と牛乳の用ひ方

定價一部十錢ですが赤ちやんのあるお母様
方に無料で差上げ度いと思ひます
御希望の方は左記へ御申込下さい
平市鎌田町

岡田ミルクラント
配給所 湯本、緩、四倉
電話五一番

債券 賣買
金融

質物一般 多田井商店

平市大工町
電話五九一
振替仙台一五三九

◎見習看護婦増員

二、三名至急入用

希望者ハ直接本入来院ヲ乞フ

四倉町(電話三〇番)

醫學博士 吉田正
吉田醫院

和洋銅鐵金物問屋

諸橋久太郎
電話九番九九番

大金屋商店

デンキ・タイヤ
電話六三二番

◆冷凍装置材料精選
夏に最もフサワシイ
△味自慢!!衛生に準じた
カンパ 氷の御菓子
特製
多少に拘かわらず
御用命下さい

四倉仲町
カンパ商店
アイスキャンデー部

魚召すから
ヒシマル凍魚

鯛 マナ鱈 帆立貝柱
目 抜 平アヂ うに貝焼
甘鯛 エビ マス

日本産手特約電話三八三六番
卸小賣 平製氷會社
氷製造所 小印魚問屋
四倉町五二八番

新鮮な冷凍貝焼あります

吉田眼科醫院

平市紺屋町(電話六八番)

平病院 電六四二番

今般副院長下シテ高橋俊幸氏ヲ招聘
シ「内臓外科、一般外科、皮膚泌尿
器科」ノ診療ニ從事セシム

院長 醫學博士 鈴木定藏
副院長 鈴木定藏
高橋俊幸
佐藤幾要司

内 科 部長 鈴木定藏
小 兒 科 部長 鈴木定藏
皮膚泌尿器科 部長 高橋俊幸
物理的療法科 部長 鈴木定藏
藥劑科 部長 鈴木定藏
物理療法科 部長 鈴木定藏

◎診療時間 毎日午前八時ヨリ午後九時迄
夜間診療ニ從事ス
(急患ハ此ノ限リニアラス)
往診隨時 入院隨時【自炊ノ便アリ】
病室完備 特等貳圓、一等壹圓五拾錢
入院料一日 二等壹圓參拾錢

花柳病科 專
泌尿器科 門
皮膚科

診療時間 午前八時ヨリ
午後九時マデ

平市田町(電話六九一)

江尻醫院
醫學博士 江尻伊三郎

産科 婦人科 花柳病科

井坂醫院

平市田町(電話五五九番)

三百年の歴史を有する
家傳靈藥 消食散
一名かけの藥

代理店 平市大町
丸龜商店
電話一三三番

故由太郎並ミキ兩儀新盆に相
當り候處誠に勝手がましく候へ共時
局柄提灯其他供物等一切御贈與の儀
固く御辭退申上候

昭和十三年舊七月
四倉町新町
豊田耕作

公輝院及び芳輝院の新盆に相當りま
すが誠に勝手乍ら時局柄提灯其他
供物等一切御贈與の儀固く御辭退申
上候

舊七月
四倉町
吉田彌十郎

亡父豐之助儀新盆に相當り候處
誠に勝手がましく候共時局柄提灯其
他供物等一切御贈與の儀固く御辭退
申上候

昭和十三年七月
四倉町字新町
長谷川儀平